

ケア労働日中比較研究会

同志社大学社会福祉教育・研究支援センター小規模研究会

# 「社区」高齢者サービスのあり方 ～都市と農村の比較検討～

郭 芳

(同志社大学大学院

社会学研究科任期付助手)



本体 4500円+税

判型・ページ数      A5・256ページ

出版年月日          2014/11/30

## 序章

### 第Ⅰ部 「村宅老所」サービスモデルの構築の必要性

第1章 農村高齢者福祉施設の調査から明らかになったこと

第2章 農村高齢者福祉施設サービスの不足と制約

第3章 農村地域における「社区」高齢者サービスの必要性

### 第Ⅱ部「村宅老所」サービスモデルの構築とその実施可能性

第4章 日本における地域福祉サービス

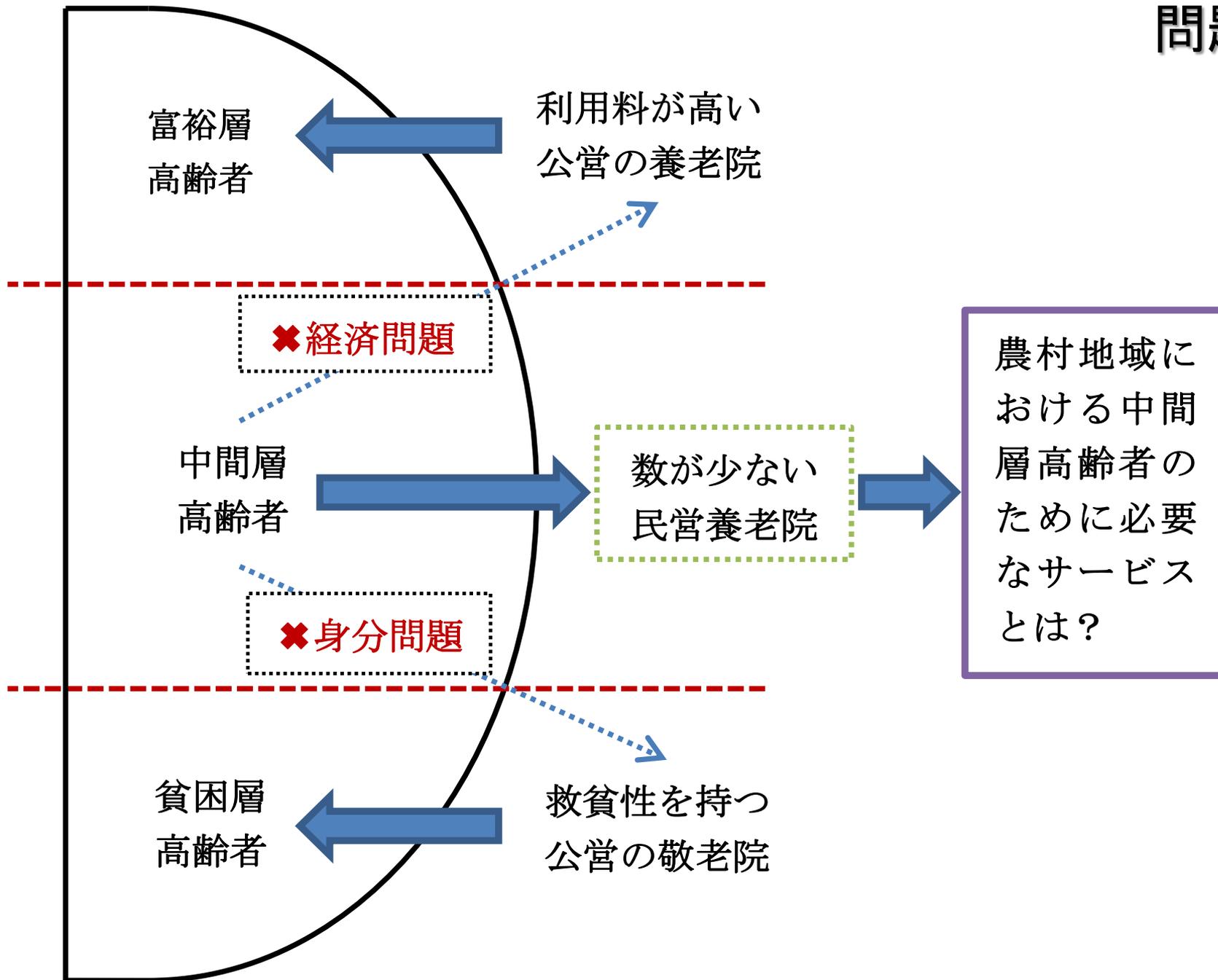
—日本の経験が中国に示唆するもの

第5章 中国農村高齢者の「村宅老所」サービスの利用希望

—高齢者と扶養家族双方の視点から

第6章 中国農村における「村宅老所」モデル試論

終章



中間層高齢者ためのサービス供給を探ること

従来の福祉サービスへの再考

課題1：  
福祉施設サービスか

課題2：  
社区福祉サービスか

課題3：何が必要か  
(新たなサービス)

日本の経験が中国  
に示唆するもの

課題4：新たなサービスの構築とその実施可能性

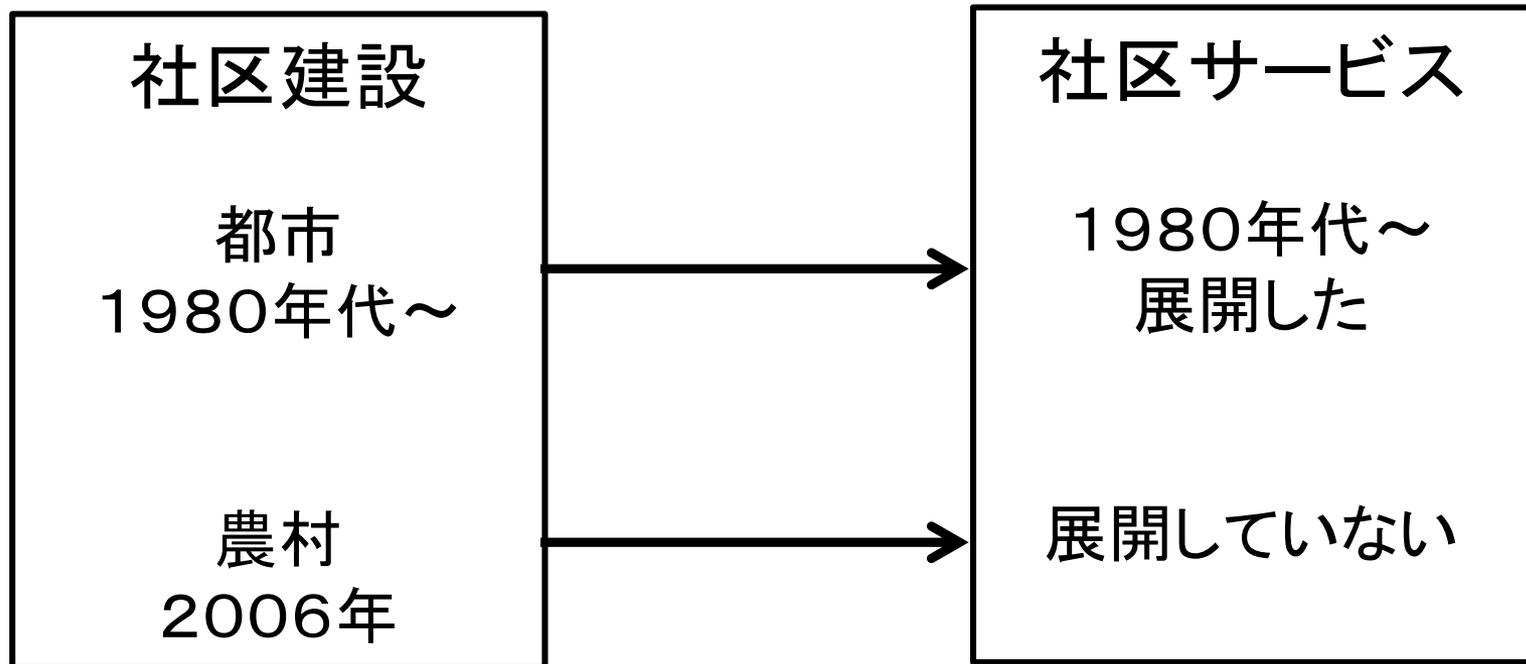
# 社区高齢者サービス

- (1) 社区サービスの展開
- (2) 農村地域における社区サービスの必要性
- (3) 政府の対応及び問題点

# (1) 社区サービスの展開

都市部 「単位」制度から「社区」へ

農村部 人民公社制度から村民自治制度へ、「社区建設」へ



## (2) 農村で展開されていない理由

- 1) 家族による扶養を過信したこと
- 2) 村民委員会の自治機能の発揮が不十分
- 3) 財源がないこと

# (3) 農村地域におけるコミュニティサービスの必要性

## ◆ 従来型の敬老院

- 入所対象が「五保老人」に限定されている
- 農村高齢者は施設入所への抵抗感がある

## ◆ 施設の整備制約による必要性

- 財政投入の制限がある
- 空きベッド問題が生じている

## ◆ 先進事例の現れ

- その特徴：
  - 経済が発展する
  - 地方政府が主導役割を果たす
  - 村単位で実施する

## (4) 政府の対応及び問題点

### 中国政府の姿勢

「農村部のコミュニティは郷・鎮の敬老院、村級組織の活動の場所といった現有の施設の資源に頼って、80%前後の郷・鎮は入居サービスと在宅サービスなど多様な機能をもつ総合的な高齢者福祉センター、3分の1の村民委員会と集落は高齢者文化活動とサービスステーション1カ所をもつように努力する」

—2008年「居宅養老サービス関連業務の全面的推進に関する意見」



活動拠点の範囲が広いのではないかと  
より地域に密着させる必要性があるのではないかと

# 中国の実情に合う小規模多機能ケアサービスの構築とその実施可能性

- (1)「村宅老所」と名付ける
- (2)「村宅老所」サービスモデルとは
- (3)「村宅老所」サービスの実施可能性

## (1)「村宅老所」と名付ける一その理由

- ◆ 中国では介護保険制度が制定されていないので、日本の介護保険制度前の小規模多機能ケアである「宅老所」の名前を借りた
- ◆ 日本の宅老所が自発性・地域密着・小規模な事業
  - ✓ 制度が制定される前に始まった事業である
  - ✓ 民間による自主的な福祉活動である
  - ✓ 地域社会とつながっている事業である
  - ✓ 小規模で展開している事業である

## (2)「村宅老所」とは

### —社会的・文化的背景の検討

#### ◆ 設置圏域—村民委員会圏域

- ✓ 郷・鎮の人口規模は2～3万、5～6万人の単位が多いことに対して、村の人口規模は1000世帯以下が76%である。
- ✓ 村は地域社会連帯の基盤であり、関係調整が行われやすく、村民の主体形成を促しやすい。
- ✓ 農村高齢者がサービスを利用する際、その「距離」が重視され、住み慣れた地域で老後を過ごしたい。

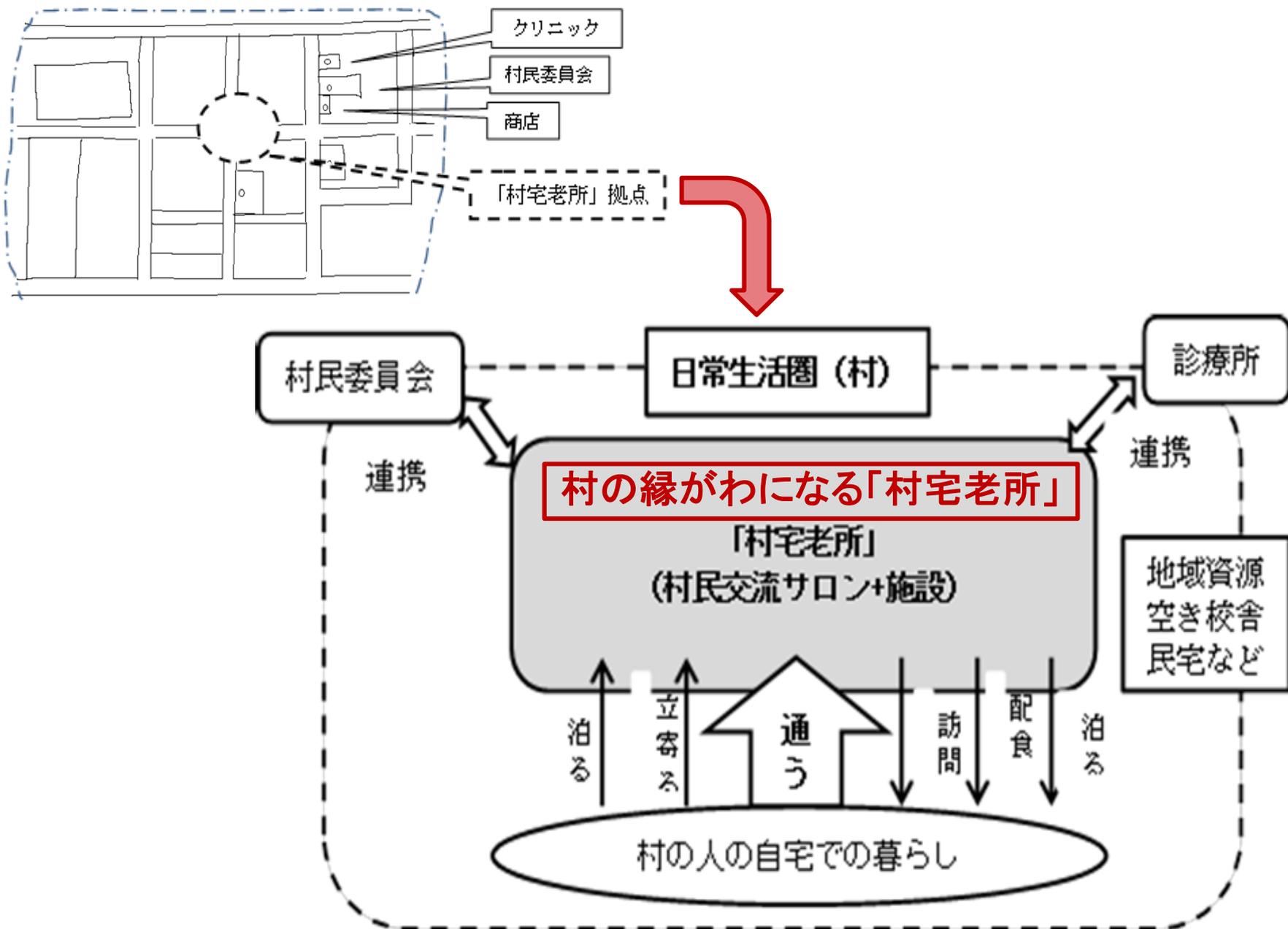
#### ◆ モデルの主体—村民委員会

- ✓ 村民委員会は強い行政化機能と村の凝集力を高める機能
- ✓ 日本の地域包括支援センターの役割を果たすべき(支援と評価)

#### ◆ 何が求められているか(図3参照)

- ✓ 利用者、提供するサービス、利用費用、人員配置、評価制度

## (2)「村宅老所」とはーイメージを見る



### (3)「村宅老所」サービスの実施可能性①

#### ◆ 介護保険制度を前提としないモデル

- ① 民間による自主的な福祉活動に大きなチャンスを提供
- ② 「制度にはまらない」、「形態にはまらない」、「形にはまらない」

#### ◆ 多様な運営主体がある

村民委員会、政府によるNPO、住民によるNPO、企業、個人

⇒社会化や市場化のルートに沿って、サービス主体多元化の道を選ぶ

### (3)「村宅老所」サービスの実施可能性②

#### ◆「人・もの・金」の確保

- ① 人材の確保：農業外兼業の形として村の人を雇う
- ② サービス拠点整備：空き家や空き店舗あるいは新築
- ③ 運営資金の確保：

